

## 第7回 IT を活用した教育センターワークショップを開催して



昭和大学歯学部 歯学部長 宮崎 隆

平成24年度から文部科学省の大学間連携共同教育推進事業として進めている「ITを活用した超高齢社会の到来に対応できる歯科医師の養成」プログラムの第7回 IT を活用した教育センターワークショップが、平成27年6月4日に、昭和大学旗の台校舎1号館6階会議室で開催されました。本事業は、北海道医療大学ならびに岩手医科大学、さらに北海道歯科医師会、札幌歯科医師会、岩手県歯科医師会、盛岡市歯科医師会、大森歯科医師会、蒲田歯科医師会、目黒区歯科医師会、品川歯科医師会、荏原歯科医師会との連携のもとに着実に事業を進めています。早いもので、5年間の事業計画の4年目になりました。連携大学ならびに連携歯科医師会からの参加者に加えて、お世話になっているIT企業からの参加を含めて50名強の参加者がありました。

前日の6月3日に、文部科学省高等教育局大学振興課大学改革推進室の河原洋祐係長、外部評価委員の大西弘高先生（東京大学）、R.ブルーヘルマンズ先生（東京医科大学）のご臨席を得て、第1回公開シンポジウムを開催しました。奥州市国保衣川歯科診療所所長の佐々木勝忠先生の講演に引き続き、3大学のこれまでの取組と成果について発表があり、大森歯科医師会の下山忠明会長から本取組への期待が述べられました。各大学では本プロジェクトで開発した新しいIT教材を実地の授業に導入し、学生アンケートの結果からも高い教育効果が出ていることが認められています。

今回のワークショップでは「5年生に対する教育を確立する」と、「歯科医師会との連携した教育の充実を図るー地域医療実習ー」のテーマについて、グループならびに全体討議を行いました。地域医療実習については、3大学がそれぞれの立場ですでに実施していますが、本プロジェクトとの兼ね合いで問題点と解決への方策について、大学と歯科医師会メンバーで議論することができましたので、今後の学生教育の充実につながることを確信しました。今後の2年間で、最終ゴールに向かい、さらに協議を重ねていきたいと思えます。

最後になりましたが、忙しい時期にも関わらずご参加いただいた各大学ならびに歯科医師会の先生がた、そしてワークショップの運営にご尽力いただいた教育センター、協力IT企業、ならびに各大学の事務関係者に篤く御礼申し上げます。